



令和7年度

人と環境にやさしい

農業フォーラム

～ 食育×有機農業 ～



2026年 2月8日 

13:00-16:00(開場13:00)

令和7年度

養父市の取組報告

ご報告の前に…

人と環境にやさしい農業とは？



ご報告の前に…

人と環境にやさしい農業とは？



- 有機農業
- 農薬・化学肥料低減農業
- 省力化技術の活用 etc…

有機農業とは？

我が国では、平成18年度に策定された「有機農業推進法※注1」において、有機農業を「化学的に合成された肥料及び農薬を使用しないこと並びに遺伝子組換え技術を利用しないことを基本として、農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減した農業生産の方法を用いて行われる農業をいう。」と定義されています。

注1 有機農業の推進に関する法律（平成18年法律第112号）

「有機農業の推進に関する法律」による有機農業の定義は以下のとおりです。

1. 化学的に合成された肥料及び農薬を使用しない
2. 遺伝子組換え技術を利用しない
3. 農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減する
農業生産の方法を用いて行われる農業です。

なお、国際的な委員会（コーデック委員会※注2）が作成した「ガイドライン※注3」において規定した「生産の原則」では、以下のとおりです。

有機農業は、生物の多様性、生物的循環及び土壌の生物活性等、農業生態系の健全性を促進し強化する全体的な生産管理システムである

有機農業とは？

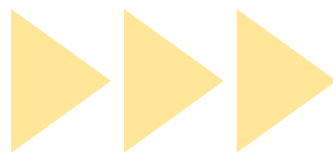
1. 化学的に合成された肥料及び農薬を使用しない
2. 遺伝子組換え技術を利用しない
3. 農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減する農業生産の方法を用いて行われる農業

ご報告の前に…

養父市が
人と環境にやさしい農業
を進める目的

山々に囲まれた自然豊かな養父市にとって、
農業は大事な産業！ですが・・・

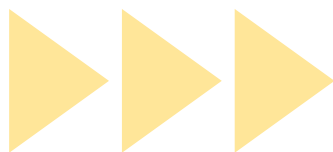
- ・ 人口減少
- ・ 高齢化



農業者は減り、
耕作放棄地は増加

山々に囲まれた自然豊かな養父市にとって、
農業は大事な産業！ですが・・・

- ・ 人口減少
- ・ 高齢化



農業者は減り、
耕作放棄地は増加

このままでは将来養父市の農業はなくなる
かもしれません。

養父市の一部の地域や農家では、かねてから環境に配慮した農業や関係する取組が行われてきました。



おおや堆肥センター

平成15年4月供用開始



おおや高原

平成2年栽培開始



おおや有機農業の学校

平成23年4月開校

養父市の一部の地域や農家では、かねてから環境に配慮した農業や関係する取組が行われてきました。



おおや堆肥センター

平成15年4月供用開始



おおや高原

平成2年栽培開始



おおや有機農業の学校

平成23年4月開校

他にもたくさんの方が取り組まれています。

テーマ

人と環境にやさしい農と食を

未来につなぐまち

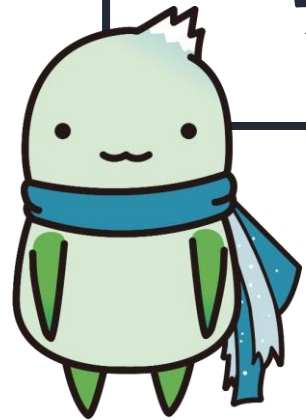
1 将来像の策定

人と環境にやさしい農業ビジョン

有機農業実施計画

1 将来像の策定

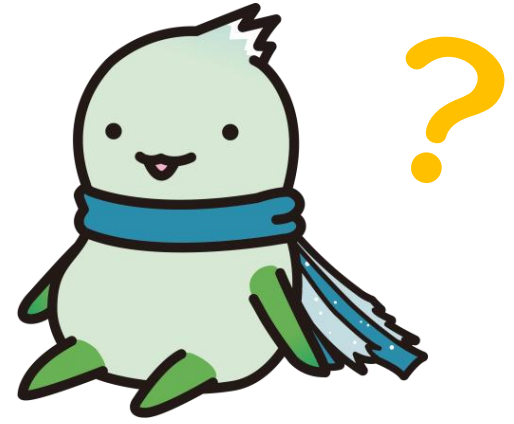
人と環境にやさしい農業ビジョン



詳しくはHPを
チェック！

有機農業実施計画

Y A P (ヤッヅ)

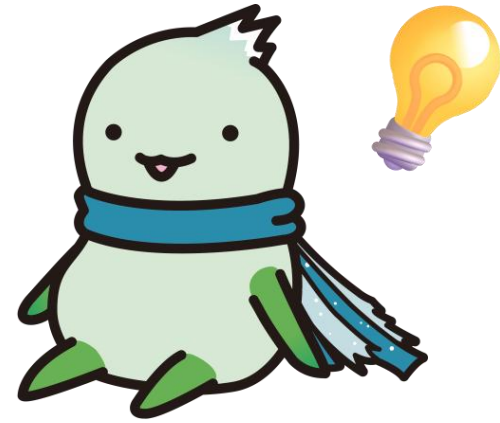


Y

A

P

Y A P (ヤッツプ)



Y やさしい

A アグリ

P プレイヤー

2 決意表明

オーガニックビレッジ宣言

有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ**地域ぐるみの取組みを進める市町村**のこと。

(農林水産省のHP)



3 始動！

やぶし有機の里づくり推進協議会

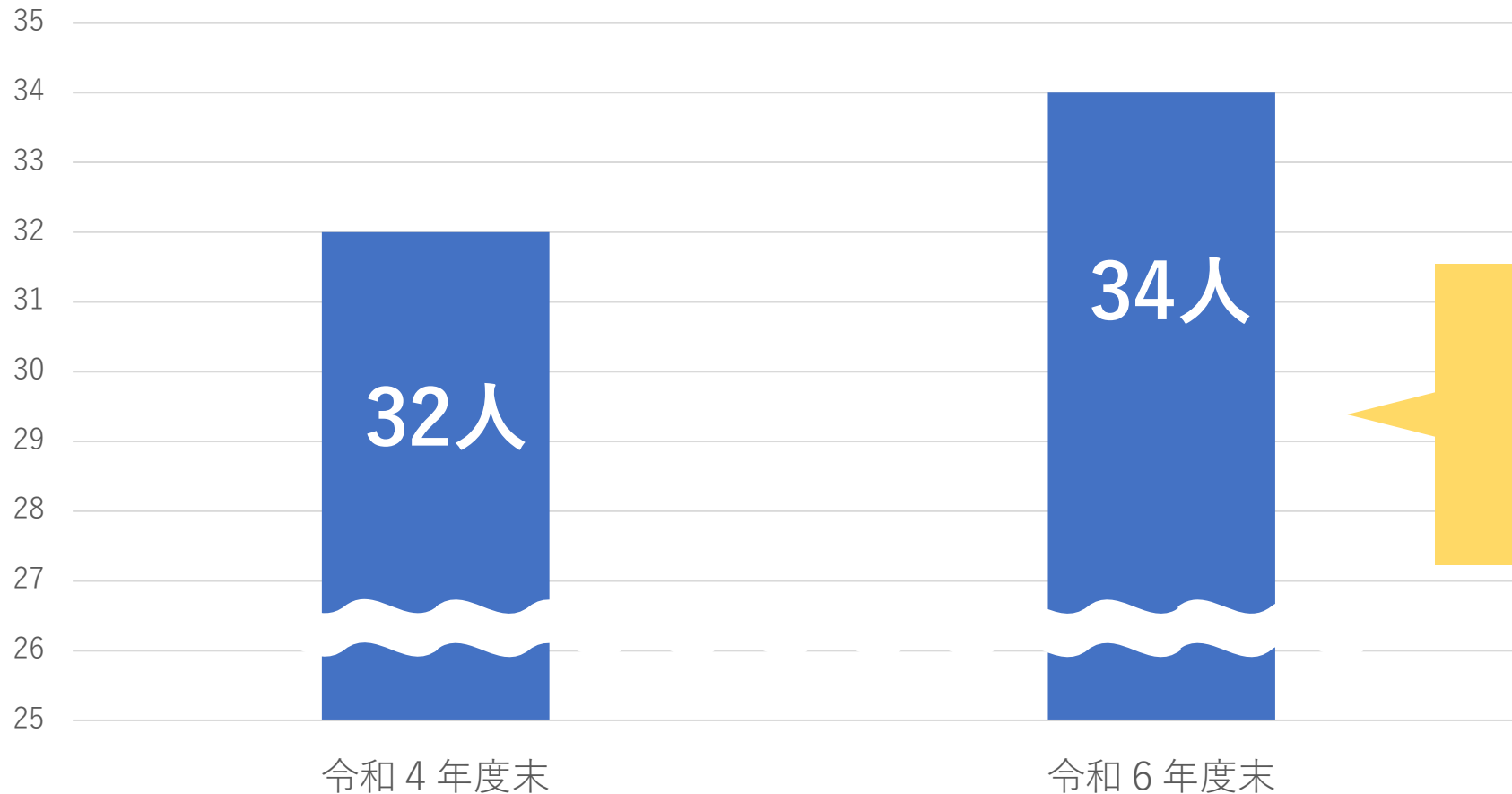
令和5年8月に発足

有機農家をはじめ有機指導者、食育関係者、JA、兵庫県など様々な分野の方で構成しています。

養父市の有機農業者数

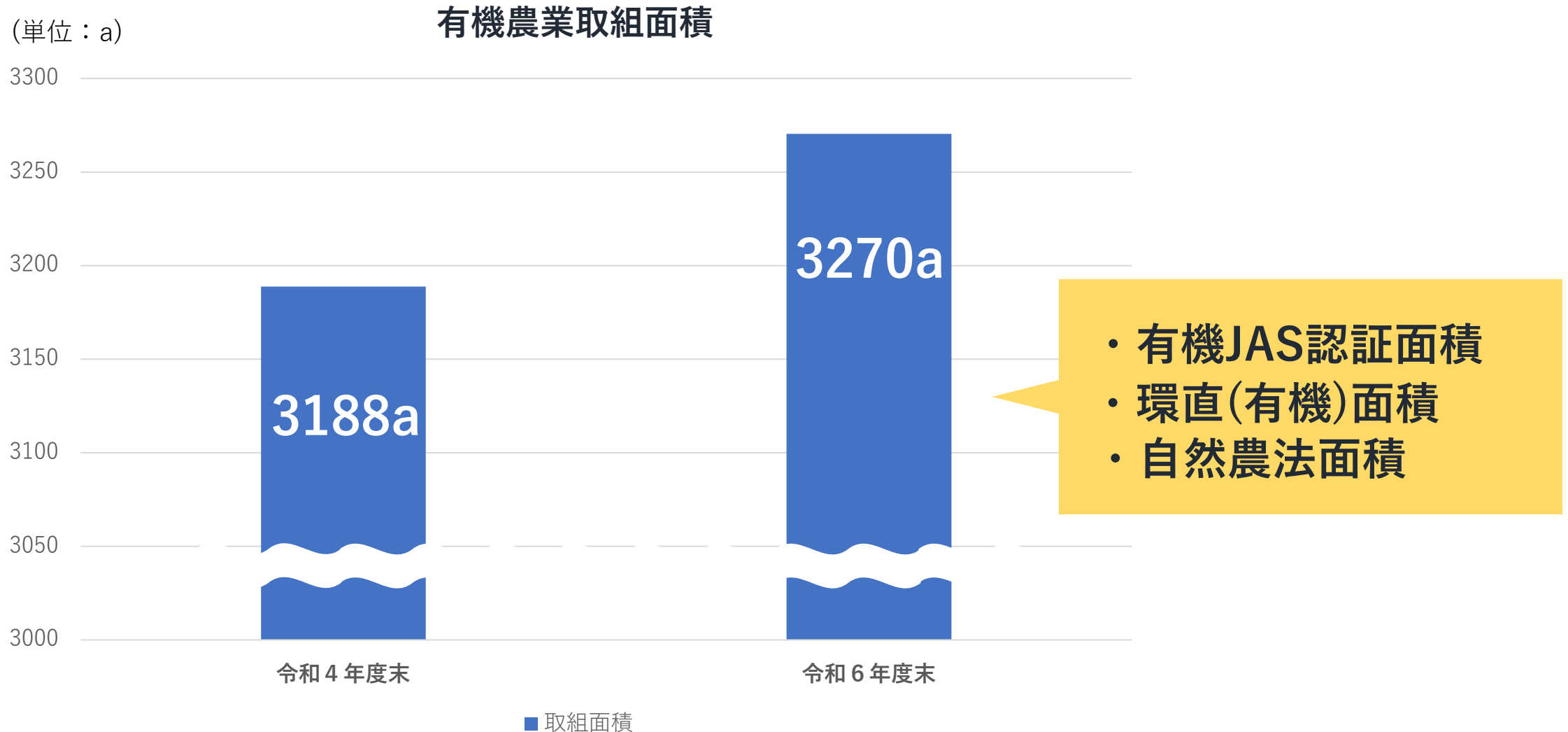
(単位：人)

養父市の有機農業者数



- ・ 有機JAS認証
- ・ 環直(有機)
- ・ 自然農法

養父市の有機農業取組面積



令和7年度の取組

今年度の目標

the goal.1

PRと食育のさらなる強化

the goal.2

生産拡大支援

やぶし有機の里づくり推進協議会の開催

目的 人と環境にやさしい農業への転換及び農産物の流通・消費の拡大を通じて、**持続可能な農業を地域が一体となって取り組むまちづくり**を目的

第1回 6月10日（火）

第2回 11月20日（木）

有機農業者等会議の開催

目的 実際に有機農業等に取り組んでいる農家の声を伺い、**市の施策をより実効性のあるものにする**ことを目的

開催日 7月16日（水）

オーガニックライフスタイル EXPO in 京都

委託先：NPO法人
Earth Family農と食と教育

目的 養父市有機農業のPR、
情報交換

日時 5月23日(土) 5月24日(日)

場所 京都市勧業館みやこめっせ

内容 有機野菜、加工品の販売、
養父市有機農業に関するパネル展示



たかやなぎ食育フェスタ

2025年 6月8日(日)
10:00~15:00

会場 高柳小学校

食育に関する展示やキッチンカー、
ステージなど様々なイベントを実施

有機農業に関するクイズラリーを実施し、正解した方にはオリジナルバッジをプレゼント！



川原でご飯を炊こう in かぶと岩

目的 体験と講話から食の大切さや、
有機農業を学ぶ機会として開催

日時 8月23日（土）
9：15～15：00

内容 有機野菜の収穫体験や、
かまど炊き体験、お米に
まつわる講話と朗読を実施しました。

夏休み最後の
特別企画
川原で
ご飯を炊こう！

有機のご飯や野菜が
食べられるよ！



参加費
1人200円

～お米をもっと知りたい人集まれ！～

はがま
羽釜ってなあに？



羽釜

羽釜は昔の人がごはんを炊くときに使っていた、大きな鉄や土でできたお鍋のことだよ。下から火であたためて、ふたをして炊くとお米がふっくら、おいしく炊けるんだ！



内容

川原で羽釜を使って、ご飯を炊いたり、お話を聞いてお米や食について学ぼう

スケジュール

- ①有機野菜の収穫体験
- ↓
- ②調理体験、かまど炊きご飯
- ↓
- ③食事（有機のご飯と野菜）
- ↓
- ④おはなし

収穫体験



調理



川原でご飯を 炊こう！



食事



朗読と講話



きょう おはなしのないよう
1 「にほんのくに」しまできたこと
2 「にほんじん」がうまれたこと
3 「おこめ」をつくるようになったこと
4 いまのおこめづくりのこと
5 これから どうしたらいいの？

オーガニックマルシェYAP

目的 養父市の有機農業の推進と、市民への普及

日時 10月18日（土）19日（日）
10：00～16：00

場所 養父公民館の玄関前

内容 環境に配慮した農産物の生産に取り組む市内の農家さんが新鮮な野菜などを出品されました。

おいしいYAP農産物が買える！

秋

の

オーガニック
マルシェ
YAP



10/18^土
19^日

養父公民館

10：00～16：00

天候や販売状況により変動する場合があります。

YAPってなに？

「YAP(ヤップ)」とは「やさしい・アグリ・プレイヤー」の略称。作る人、売る人、食べる人、環境にやさしい農業に関わるすべての人を指す、養父市独自の愛称です。また、環境に配慮した農産物をYAP農産物と呼びます。

出店されるYAP農家さん

- wataya farm (野菜セット、小麦の加工品など)
- Mill Leaf (ピーマン、きゅうり、小松菜など)
- 西村農園 (ピーマン、ナス、たまごなど)
- 健人自然農園 (万願寺、ピーマンなど)
- アグリハイランド金谷 (水菜など)

※出品者また品目については変更の可能性があります。

主催 養父市農林振興課
やぶし有機の里づくり推進協議会

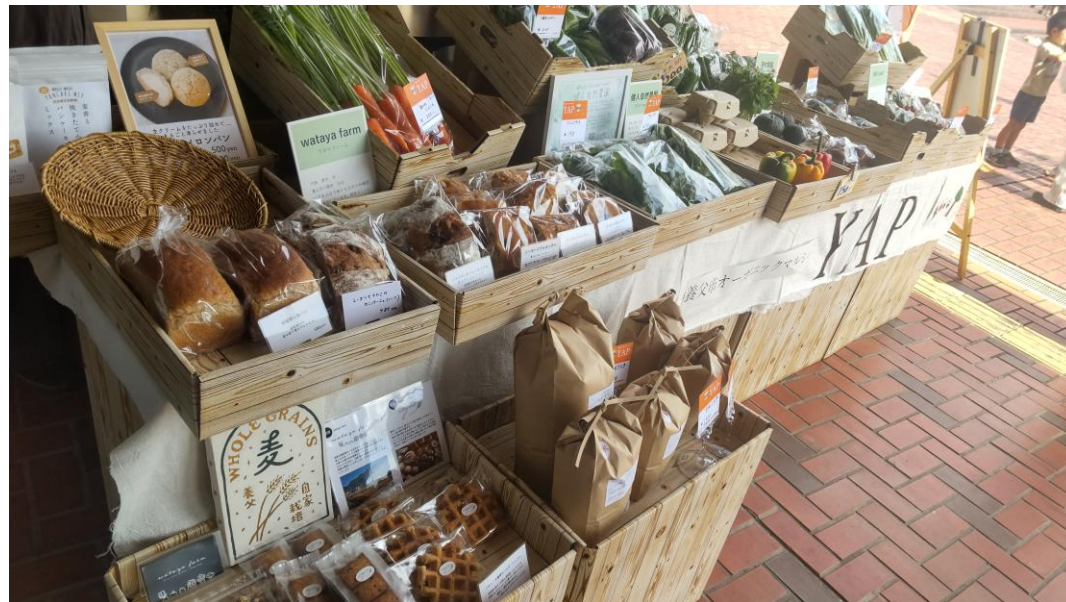


養父市HP

18日



18日



19日



いたみおーがにつく市

委託先：NPO法人
Earth Family農と食と教育

日時 11月16日（日）

場所 伊丹市

内容 環境に配慮して生産された
農産物・加工品の販売

生産者と繋がろう！！

いたみ おーがにつく市 2025.11.16 (SUN)

開催内容

チャリティライブ・パフォーマンス
自然農・有機野菜
ビーガン弁当
米粉スイーツ・パン etc…
※変更する場合があります

【当日は飢餓救済募金にご協力おねがいます】

《いたみおーがにつく市について》

全ての人を繋ぐ「食」をテーマに
未来を担う子どもたちをはじめとした
全ての人の健康と地球環境の為に
「人と環境にやさしい」農作物・加工品等を通じて
地球に生かされていることへの感謝や
全ての命のために取り組む活動を応援するための
マルシェです。



会場：稲野公園

〒664-0861 伊丹市稲野町 2-3-2
阪急稲野駅より徒歩2分
JR猪名寺駅より徒歩10分
※駐輪可・駐車場無 ※小雨決行



主催：食の未来を創る会
後援：南小学校地区自治協議会 伊丹市
養父市 朝来市 豊岡市 兵庫県阪神北県民局



問い合わせ：食の未来を創る会



今後の予定



農家向け研修会

開催日 3月13日（金）

場 所 養父公民館 A研修室

講 師 菌ちゃんふぁーむ
代表取締役 吉田 俊道 氏

内 容 土づくりについて

○隨時實施

養父市給食の有機野菜使用量

給食センター／令和5年度有機野菜使用量 (kg)

令和6年度有機野菜使用量 (kg)

にんじん	1,150.0
ほうれん草	270.0
なす	145.0
ピーマン	109.0
かぶ	80.0
大根	70.0
みずな	16.0
春菊	7.0



にんじん	1,257.0	なす	72.0
ほうれん草	434.0	●たまねぎ	40.0
かぶ	321.0	●ミニトマト	27.4
大根	187.0	●菊菜	23.0
●小松菜	126.0	●スイーコーン	10.0
ピーマン	122.0	●かぶ(葉)	10.0
●ズッキーニ	85.0	●水菜	7.5
●きゅうり	75.0		

合計 1,847.0kg (全体の4%)

合計 2,796.9kg (全体の6.1%)

有機農業拡大推進業務

委託先：株式会社 農協観光

委託内容（委託先の提案）

- (1) 市内外への養父市、有機農産物のPR活動
- (2) 都市部の小売店への訪問活動、宿泊施設等からの現地視察の受け入れ
- (3) 既存HPの情報更新
- (4) 将来を見越した着地型商品の造成

この他にも

①ムカデ芝による作業省力化実証実験

経過観察中

②有機JAS認証補助金

申請件数：14件（2月2日時点）

③土壌診断補助金

申請件数：0件（お問合せ数件）

④人と環境にやさしい農業推進補助金

申請件数：2団体（映画上映2件、講習会1件）

ご清聴ありがとうございました

実践されている方の紹介や
補助についてなど
気になることがあれば
農林振興課までお気軽に
お越しくください。

